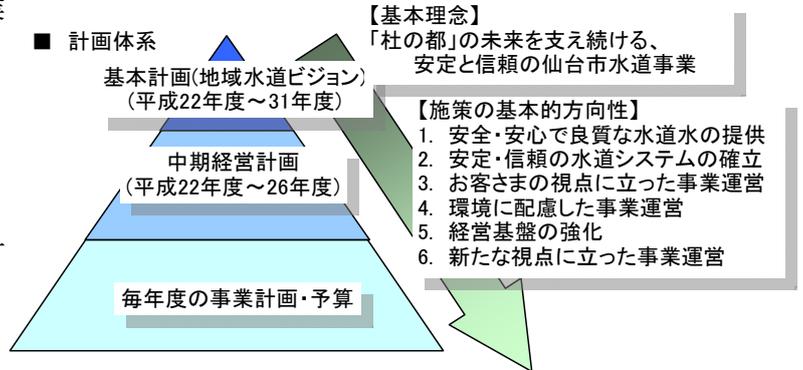


仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）概要版

1. 策定趣旨・位置づけ

仙台市水道局では、今後 10 年間の事業運営の指針となる「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～31 年度）」を策定するとともに、この基本計画の確実な実現を図るため、前半 5 年間の具体的な実行計画として、「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～26 年度）」を策定しました。



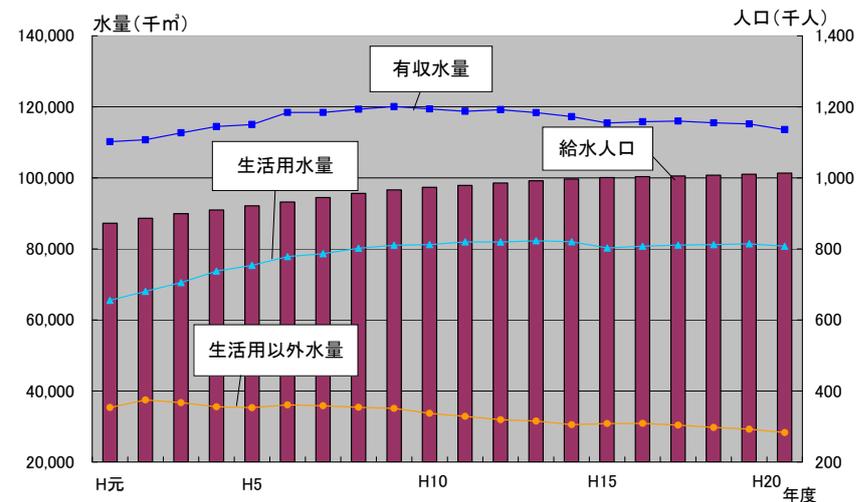
2. 計画期間における主な経営課題

(1) 水需要の動向

仙台市の有収水量は、節水意識の浸透や節水機器の普及、景気の低迷などを背景に、平成 9 年度をピークとして減少傾向が続いています。

今後についても、給水人口が計画期間中に減少に転じることが予想されるなど、水需要のさらなる減少を前提とした事業運営が必要となっています。

■ 給水人口と有収水量の推移



(2) 宮城県沖地震などの災害対策

宮城県沖地震の発生確率は、今後 10 年以内に 70% 程度と非常に高まっていますが、こうした大規模地震をはじめとする災害時にも、水道がライフラインとしての役割を果たすことができるよう、施設の耐震化や水運用機能の強化を、より一層推進していく必要があります。

■ 宮城県沖地震の発生確率(評価時点 H22.1.1)

10 年以内	20 年以内	30 年以内
70%程度	90%程度以上	99%

(地震調査研究推進本部H22.1.12 公表)

(3) 水道施設の老朽化

今後、これまでの拡張事業期に集中的に整備してきた水道施設の老朽化に伴う更新需要の増加が見込まれます。

安定給水を確かなものとするため、耐震診断や機能診断などにより施設実態の把握に努めるとともに、それぞれの施設に合わせた適切な維持管理や計画的な更新を進めていく必要があります。

3. 計画期間における主な取組事業

◆基本的方向性1：安全・安心で良質な水道水の提供

水源から蛇口に至るあらゆる過程において、これまで以上に水質管理・危機管理の充実に取り組み、安全・安心で良質な水道水を提供していきます。

- ✚ 高度浄水処理施設の導入
粉末活性炭注入設備の更新（茂庭浄水場）
高度浄水処理施設の導入検討（国見、中原、福岡浄水場）
- ✚ 貯水槽水道設置者に対する指導・助言
衛生行政とも連携した貯水槽水道の適正管理に向けた指導・助言の実施
- ✚ 「（仮称）仙台市水道局水安全計画」の策定
水源から蛇口に至るまでのあらゆる危害要因に対応した水質管理の徹底

▼粉末活性炭注入設備



◆基本的方向性2：安定・信頼の水道システムの確立

平常時はもとより、災害時においても水道がライフラインとしての役割を果たすため、水道施設の不断の維持管理に努めるとともに、老朽施設の更新や耐震化などを推進していきます。

《水運用機能の強化・災害対策》

- ✚ 水運用機能の強化
仙南・仙塩広域水道の単独配水区域へのバックアップ施設の整備など
- ✚ 浄水施設の耐震化
最も浄水能力が大きい茂庭浄水場系統の施設について、平成25年度までに耐震化
- ✚ 配水施設の耐震化
市内中心部の配水を担うなど、水運用上重要な位置づけにある配水施設の中で、老朽化が進んでいる荒巻配水所、大年寺山配水所について、平成26年度までに耐震化
- ✚ 災害拠点病院などへの管路耐震化
災害医療の拠点となる医療機関への管路を優先的に耐震化

▼荒巻配水所



▼管路の更新作業



《施設の維持管理・更新》

- ✚ 浄水、送・配水施設設備の適正な維持管理と計画的な更新
- ✚ 管路の更新
機能障害や漏水事故の防止、耐震性強化のため、老朽化した配水管などを計画的に更新
- ✚ 鉛製給水管の更新
道路内埋設の鉛製給水管について、平成30年度までの解消を目指して計画的に更新

◆基本的方向性3：お客さまの視点に立った事業運営

「お客さま満足度の向上」という視点に立ち、水道サービスの利便性向上などに努めます。また、経営情報などの広報にも努め、公営企業としての説明責任を果たしていきます。

- ✚ （仮称）水道修繕受付センターの設置
水道のトラブル、修繕に関するお問い合わせに24時間ワンストップで対応する（仮称）水道修繕受付センターの設置を検討
- ✚ 広報機能の充実
お客様の関心が高い水質、災害対策に関する情報や、経営情報、水道料金などに関する情報の積極的な提供
- ✚ 広聴機能の充実
さまざまな経路で寄せられるお客様の声の的確な把握と施策への反映

▼水道局ホームページ



◆基本的方向性4：環境に配慮した事業運営

健全な水循環に代表される良好な自然環境の恩恵の上に成り立っている水道事業者として、より一層環境に配慮した事業運営に努めていきます。

- ✚ エネルギーの有効活用
施設設備の更新時における省エネルギー型機器への切り替え、再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入
- ✚ 浄水発生土の有効活用
既にも実施しているセメント原料化のほか、新たな有効活用策も検討

▼安養寺配水所 太陽光パネル



◆基本的方向性5：経営基盤の強化

将来にわたって持続可能な水道事業を確立するため、事業運営の効率化や財務体質の強化、人材育成など、経営基盤の強化に向けた取り組みを進めていきます。

- ✚ 維持管理の効率化
浄水場運転管理業務などについて、業務委託などの効率化手法を検討
- ✚ 料金制度の見直し
水需要構造の変化や今後の施設の更新需要なども踏まえながら、維持管理・更新の時代に適合した料金制度のあり方を検討
- ✚ 職員研修などの充実
これまで培ってきた水道技術の効果的な継承の観点から、体験型研修施設の整備などを実施

▼職員研修風景



◆基本的方向性6：新たな視点に立った事業運営

東北地方や仙台都市圏における仙台市の役割を踏まえ、広域化・広域連携や国際貢献といった視点での取り組みを進めていきます。

- ✚ 宮城県・近隣水道事業者との連携強化
仙南・仙塩広域水道の危機管理などの観点からの宮城県との技術分野の連携強化など
- ✚ 国際貢献の推進
海外技術研修員の受け入れなどの国際貢献活動の推進

▼海外技術研修員の受け入れ



4. 財政収支の見通し

水需要の減少に伴う給水収益の減少など、本計画期間中の事業収入は引き続き減少傾向が続くことが見込まれます。

その一方で、老朽施設の更新、耐震化などの事業にさらに力を入れていく必要がありますが、こうした事業費の増加に対しては、さらなる経営効率化の推進や、仙南・仙塩広域水道の受水費負担の軽減効果なども活用しながら財源を確保し、対応していきます。

また、企業債の借り入れについては、引き続き抑制に努め、財務体質の強化を図りながら事業を推進していきます。

■ 配水計画

項目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給水人口 (人)		1,015,300	1,016,100	1,016,300	1,015,900	1,015,200	1,014,000
一日平均配水量 (m ³ /日)		334,070	332,570	331,600	330,600	329,300	327,560
一日最大配水量 (m ³ /日)		373,452	371,600	370,500	369,400	367,900	366,000
年間総配水量 (m ³)		121,935,550	121,388,050	121,365,600	120,669,000	120,194,500	119,559,400
年間有収水量 (m ³)		113,208,400	112,934,650	112,819,500	112,197,350	111,781,250	111,332,300

■ 財政収支計画

(単位:百万円)

区分	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
収 入	給水収益	24,968	24,800	24,761	24,611	24,507	24,394	
	その他	2,306	2,240	2,205	2,167	2,131	2,104	
	計	27,274	27,040	26,966	26,778	26,638	26,498	
	支 出	人件費	3,795	3,871	3,789	3,699	3,689	3,737
		物件費	5,419	5,535	5,474	5,418	5,367	5,292
		受水費	7,547	7,077	7,058	7,037	7,039	7,010
		減価償却費	7,077	7,164	7,298	7,431	7,525	7,565
		支払利息	2,220	2,085	2,010	1,979	1,930	1,877
		その他	929	717	646	661	667	694
	計	26,987	26,449	26,275	26,225	26,217	26,175	
当年度純損益(税込み)	287	591	691	553	421	323		
当年度純損益(税抜き)	80	271	347	232	111	42		
累積欠損金	3,387	3,116	2,769	2,537	2,426	2,384		
資 本 的 収 入	企業債	6,006	3,300	4,589	3,890	3,750	3,430	
	その他	1,734	853	864	766	699	665	
	計	7,740	4,153	5,453	4,656	4,449	4,095	
	支 出	建設改良費	8,029	7,451	8,177	7,779	7,500	6,859
		企業債償還金	7,988	5,387	5,508	5,556	5,193	5,366
		その他	0	130	183	0	0	0
		計	16,017	12,968	13,868	13,335	12,693	12,225
収支差額	△ 8,277	△ 8,815	△ 8,415	△ 8,679	△ 8,244	△ 8,130		
補てん財源	9,813	9,552	8,993	8,822	8,347	8,250		
累積資金剰余額	1,536	737	578	143	103	120		
企業債残高	83,226	81,139	80,220	78,554	77,111	75,175		

※ 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純利益(税抜き)、累積欠損金、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ 平成21年度の資本的収支は、地方公営企業法第26条の規定による平成20年度からの繰越額を含む額である。

お問い合わせ 仙台市 水道局 企画財務課
〒982-8585 仙台市太白区南大野田 29-1
TEL 022(304)0010 FAX 022(249)2006